



# 日本スーパーマーケット協会

## 平成25年3月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

### ① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	49,571,261 万円	100.0%	101.4% (98.8%)	47,071,367 万円	99.4% (96.3%)
食 料 品	40,463,415 万円	81.6% (83.3%)	101.1% (98.8%)	38,825,172 万円	98.8% (96.1%)
農 産	6,045,720 万円	12.2% (12.5%)	97.4% (97.6%)	5,806,913 万円	95.2% (95.0%)
水 産	4,056,060 万円	8.2% (8.3%)	100.5% (97.0%)	3,885,294 万円	98.0% (94.5%)
畜 産	4,592,652 万円	9.2% (9.7%)	103.3% (100.1%)	4,393,018 万円	100.6% (97.2%)
惣 菜	4,397,523 万円	8.9% (8.9%)	103.3% (100.2%)	4,225,742 万円	100.8% (97.1%)
日配食品	8,841,700 万円	17.8% (18.4%)	101.1% (98.1%)	8,479,528 万円	98.8% (95.6%)
加工食品	12,529,760 万円	25.3% (25.5%)	101.6% (99.5%)	12,034,677 万円	99.4% (96.9%)
生活関連	3,399,465 万円	6.9% (6.7%)	102.2% (98.7%)	3,308,333 万円	100.7% (97.0%)
衣 料 品	2,413,904 万円	4.9% (3.0%)	104.1% (97.4%)	1,725,882 万円	105.9% (96.0%)
そ の 他	3,294,477 万円	6.7% (7.0%)	102.9% (99.9%)	3,211,980 万円	102.8% (98.5%)

### ② 数 値

全店総売上高	49,571,261 万円	店 舗 数	4,330 店舗
総売場面積	8,332,696.6 m <sup>2</sup>	総従業員数	218,950 人

店舗平均月商	11,448.3 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,801 円 (98.7%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	5.9 万円 (5.5 万円)	平均店舗面積	1,924.4 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	19.7 万円 (18.2 万円)	パート比率(前月)	77.1% (77.2%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・前年と比較して、日曜日が1日多かったが、既存店前年比をクリアできなかった
- ・気温が高めに推移したため、涼味商材の動きが良かった。一方、鍋関連商材の需要が早期に減速した
- ・桜の開花が急激に早まって、行楽用品の動きが良かったが、週末になると気温が下がり天候が不順になり、食品購買の意欲は薄れた

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・野菜は果菜類を除いて、相場が昨年より大きく下がり、点数は大幅に伸びたが、点数単価が下がり、売上は苦戦した
- ・気温の上昇に伴い、鍋商材から果菜類へ動向がシフトした
- ・果物では、いちごの動きが良かった

### ○ 水産

- ・旬のほたるいかなの水揚げも潤沢で、好調に推移した
- ・まぐろ、かつおたたき、天然ぶりの動向が良かった

### ○ 畜産

- ・気温の上昇や花見需要の前倒しなどにより、牛肉の売上が焼肉を中心に回復傾向となっている。また、焼肉商材の動きは例年早まっている
- ・鶏肉は鍋材料としてのニーズが下がり売上は落ち込んだ

### ○ 惣菜

- ・早まった花見需要もあり、行楽弁当の動きが中旬頃より良くなった
- ・米飯、温野菜、天ぷら、和風惣菜の動きが良かった

○ 日配・加工食品

- ・気温の上昇に伴い、涼味商材（飲料、アイスクリーム、ビールなど）の動向が良かった
- ・おでん材料、焼き豆腐などの売上が苦戦した
- ・漬物、キムチ類の動向が依然厳しい状況となった

○ 「ひなまつり」について

- ・手巻き寿司材料の需要が伸びている。本年は日曜日ということで顕著となった
- ・刺身商材を中心に、売上が好調だった
- ・ちらし寿司、手巻き寿司、手毬寿司の動向が良かった
- ・洋風デザート、フレッシュデザート、アイスなどのデザート類が好調に推移した

○ 「お彼岸」について

- ・花、おはぎの動向が良かった。また、粒あん、きなこ、すりごまなどの材料は年々減少傾向となっている
- ・天ぷら材料の主力であるえび、さつまいも、なすなどの動向は不調だった
- ・にぎり寿司、煮物の動向が良かった

○ 「花粉症」について

- ・本年は、飛散量が多いとの報道を受け、大容量のマスクの動向が良かった
- ・機能性ヨーグルトの動向が依然好調で、花粉対策の飴も好調に推移した
- ・インフルエンザ、PM2.5とウィルス関連の報道以降、ティッシュやマスクの動向が好調に推移した。また、ティッシュでは保湿ティッシュ、マスクでは高機能マスクが伸長した

以上